

臺灣省政府
建設廳
工務局

第一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

第一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

100
-16

SHc
T-16
2730

臺灣省政府
建設廳
工務局
第一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

昭和39年11月16日

寄贈者 田中豊氏

贈呈

名著100選図書

登録	昭和40年6月2日
番号	第 2730号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

溪流及砂防工學



赤木正雄著

東京

常磐書房

目次

第一章	荒廢溪流	1
第一節	荒廢溪流の意義	1
第二節	荒廢溪流の類別	1
第三節	荒廢溪流々域の分類	4
第二章	流出砂礫の成因	9
第一節	風化作用	9
第二節	浸蝕作用	9
第三節	山崩及墜石	18
第四節	土石流	19
第三章	砂礫の流動	23
第一節	水中の土砂含有量が流速に及ぼす影響	23
第二節	砂礫に對する水の押力及砂礫の抵抗關係	24
第三節	水の限界流速及平均勾配	28
第四節	砂礫圓錐	32
第四章	荒廢溪流に於ける縦斷面の自然的形狀	37
第一節	縦斷面の理論的發達	37
第二節	上述の理論の實例	39
第五章	溪流工事	45
第一節	荒廢溪流の施工の方針	45

第二節	荒廢溪流狀河川の施工方針	58
第三節	堰 堤	82
第四節	水 制	141
第六章	我國砂防施工地と工種の關係及山腹工事	167
第一節	砂防施工地の形態分類	167
第二節	砂防工種の分類	185
第三節	秃楮崩壞の型態と之に施工すべき工種	205
第四節	額雪防止工事	218

—(目次終)—